

ハーバード大学「H. B. ニコルソン・メノアメリカ研究優秀賞」受賞記念講演

ロマンに生きてもいいじゃないか メキシコ、ピラミッドの発掘と人類学の魅力

H. B. ニコルソン・メノアメリカ研究優秀賞

中米の先住民文明研究の分野で数年に一人だけ選ばれる、大変名誉ある賞です。今まで世界的権威であるアメリカ・メキシコの研究者4名が受賞してきたなか、アジアの研究者初の受賞という快挙です。杉山特任教授が1980年代からメキシコ・テオティワカン遺跡で実施してきた3大ピラミッド調査の成果、近年の国際プロジェクトが認められ、メキシコ古代史解明への長年の貢献度が高く評価されました。

日時 2016年7月20日(水)
12:10 ~ 13:20

場所 愛知県立大学
長久手キャンパス
K棟(学術文化交流センター)

講師紹介

杉山 三郎
愛知県立大学
特任教授



1980年よりメキシコ各地の古代遺跡で調査。1988年からメキシコ、テオティワカン「羽毛の蛇神殿」、「月のピラミッド」、「太陽のピラミッド」、「石柱の広場」などの総合調査を行う。2005年からアステカ大神殿、 Cholula の巨大ピラミッドも共同研究、古代モニュメントの比較研究を行う。近年は人類学、認知科学から文明論を展開。

入場無料、一般公開
申込み不要

愛知県立大学多文化共生研究所 主催
地域連携センター 共催